

「スティーブ・ジョブズは自分の子どもに スマホを与えなかった」

校長 西田 昌史

小学校の持久走大会、中学校の校区一周駅伝大会と大きな行事が続きましたが、保護者・地域の皆様から、子どもたちにたくさんの声援をいただき、大変感謝しています。子どもたちは応援を糧に、力を出し切りました。その頑張りを見て、私も元気をもらいました。これからもスポーツを通して、粘り強い心を育んでまいります。

さて、子どもたちは冬休みを迎えます。いろいろな学習や体験ができる期間ですが、私が懸念しているのが、子どもたちのデジタル機器との接し方です。「冬休みのほとんどがネットやゲーム三昧でした。」とならないだろうかと心配しています。ここで、以前、わたしが「ネット依存と健康被害」という講演で聞き、心に残っていることを紹介します。

○「スマホ・LINE・ゲームの長時間利用による学力低下は深刻」

- ・ 子どもの電子メディア利用時間と学力低下は相関関係があり、高校生の場合、スマホを所持していない子の学力が上位にある。そして、中学、高校と継続してスマホを利用している子の学力が低い傾向がある。

○「SNS を頻繁に利用していると脳の前頭葉が成長しない」

- ・ SNS で常に誰かとつながっている状態は孤独を感じないが、子どもの脳の成長には孤独になる時間も必要である。
- ・ 子どもにとって相手の顔を見る・相手の目を見て話す・相手の言葉を理解するといった対面コミュニケーションは脳を活性化するが、SNS のコミュニケーションでは脳は活性化しない。

○「寝る直前まで、デジタル機器の画面を見ていると、ブルーライトによって睡眠障害になる。」

- ・ 脳が「まだ夜ではない」と感じると脳がリラックスできない。また、酸素が行き渡らず、脳の成長が阻害される。そのために睡眠不足に陥り、その状態が続くとデジタル認知障害（記憶障害・注意障害・集中力障害等）を煩う危険が高まる。

○「スティーブ・ジョブズは自分の子にスマホを与えなかった」

- ・ iPhone の生みの親、スティーブ・ジョブズは自分の子にスマホやタブレットを使わせなかった。その代わり子どもたちと本や歴史の話をした。電子メディアの中毒性・危険性が分かっていたのだ。

学校では、これからも子どもたちにスマホ・ネットの正しい使い方を指導しますが、冬休みは、家庭で使います。充実した冬休みにするために、今一度、ご家庭で子どもたちのスマホやネットとの接し方を見守ってください。

よい年をお迎えください

行事が多かった2学期を無事に終えることができました。これも子どもたちを温かく見守り育ててくださった保護者の方々、地域の方々、そして関係諸機関の方々のご協力・ご支援の賜物と職員一同感謝申し上げます。子どもたちが心に残る冬休みを過ごせますことを願っております。それでは、よい年をお迎えください。

<https://x.gd/pAH6f>

大川小中ブログはこちらから。
だいたい毎日更新中！
ブログの内容を、家族の、地域
の話題の一つにしてください。

小学校出前授業（花とのふれあい＆奄美の畜産）



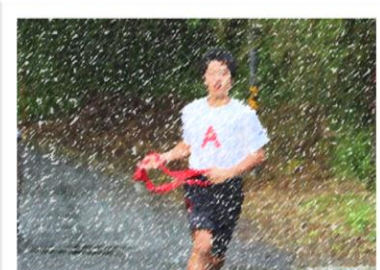
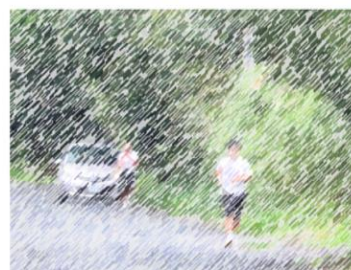
中：弁当の日



小：黒米収穫祭



中学校校区一周駅伝大会 応援＆運営への御協力ありがとうございました。



令和7年1月の主な行事等のお知らせ(予定)

日	学校行事他	日	学校行事他
1/8	あいさつ運動 3学期始業式	1/20	鹿児島をまるごと味わう 学校給食週間(～24日) 小:生活スマイルチェック
1/9	中3実力テスト(～10日) スクールカウンセラー相談日	1/21	小中合同集会あまみっ子
1/11	土曜授業 シマ唄・シマグチ学習	1/28	PTA 役員会
1/15	小5・中1・2年 鹿児島学力・学習定着度調査 (～16日)	1/31	中3授業参観・学級PTA